

科目番号	51021	分類		履修者	高度実践看護コース	学年	1, 2年次		
科目名	課題研究(入学後特別研究を選択可能) (Minor Thesis)						1, 2年次		
							配当シスター		
							通年		
担当者	○山西文子 他全教員			区分	必修	単位	5	時間数	150
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連		
<p>【概要および目標】</p> <p>臨床現場で遭遇した疑問あるいは問題を科学的に解決する能力を養うため、実践に即したテーマについて研究を行い、課題研究としてまとめる。論文の執筆と発表会を通じて、成果を論文としてまとめる力、プレゼンテーション能力を身につける。</p> <p>入学後、本人の希望により、入学前の研究実施の経験や学びの経験等を勘案し担当教員と面談、両者が合意すれば特別研究選択とし、科目責任者及び研究科長に届ける。但し研究計画作成が困難の場合は、1年次の後期セメスターから課題研究とする。</p> <p>原則、両方とも授業計画通りのプロセスとし、発表等は合同で実施する。</p>							○	1. クリティカル領域における患者の状況を総合的に判断する能力	
							○	2. クリティカル領域における患者に必要な治療を実践できる能力	
							○	3. 患者に安心・安全な医療をタイムリーかつ効果的に提供するために医師等との協働ができ、ネットワークを推進できる能力	
							○	4. 専門職としての倫理的意思決定能力	
							○	5. 高度看護実践者として、教育的・経営的な視点をもつトップマネジメント能力	
							○	6. 臨床実践に蓄積した知を研究領域へと創出する研究開発能力	
							○	7. クリティカル領域における患者の危機的状況を支援する能力	
授 業 計 画									
回	内 容								担当教員
第1～75回	1. 研究課題の選択 関連領域に関する文献検討 研究課題の明確化 2. 研究計画書の立案 研究方法の検討 3. 研究計画書発表 4. 倫理審査 5. データ収集と分析 6. 結果の評価・考察 7. 論文作成 8. 発表								全教員
事前・事後学習	事前学習：臨床の場で常に気を配り、研究課題として取り組む課題、案件を抽出し、整理する。 事後学習：本講義で学んだことを活用し、研究成果を専門学術雑誌に投稿する。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。								
評価の方法	研究への取り組み方、論文の内容、発表会におけるプレゼンテーション、ディスカッション等について、総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。								
参考図書・資料等									
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								